中学生の保護者の皆様へ

74 期/78 期保護者（38 期卒業生）

私は令和 2 年度および令和 7 年度に PTA 会長として活動した保護者です。そして私自身も茨木高校 38 期卒業生です。本日の説明会においでいただいた保護者の皆様に、卒業生であり保護者でもある立場から、茨木高校（茨高）の魅力をお伝えしたいと思います。

茨高は創立 130 年の歴史を誇る学校ですが、私が過ごした昭和から平成、令和という時代の変化がある中で、寒い冬に行われる妙見夜行登山や 9 月に開催される体育祭など、伝統行事はしっかりと受け継がれています。わずか 3 年間の高校生活の中で、生徒たちは「自主自律」という一貫した教育方針のもと、力強く成長していきます。茨高卒業生の小塚泰彦さんが少し前に策定された教育理念「円くなるな、無限であれ。」は、まさに茨高生の姿を的確に表現しています。人により様々な解釈ができるのですが、私には、個性を生かし、リーダーシップを発揮して、際限なく活躍し続ける姿を表しているように思えます。茨高卒業生は多分野で活躍されており、私が勤務する会社の元社長、息子が通う大学の学長、TV 番組で活躍する若手アナウンサーも茨高卒業生です。茨高での学びを礎に、多くの卒業生が社会の第一線で活躍しています。

私の家族の話になりますが、息子には早くから茨高をめざしてほしいと思ってきました。そして息子は、中学校での部活動を最後まで続けながら、学業にも真摯に取り組み、目標がぶれることなく、茨高生になることができました。「茨高に行きたい」というただ一つの思いが、受験を乗り越える原動力となったのだと、改めて実感しています。娘も父と兄の背中を追い、茨高生となりました。茨高での多くの学びを経て、自分の進路を自身で定めて日々学んでおります。文理学科である茨高での学びにおいて、子どもたちは中学時代には想像もしなかったような挫折を経験することもありました。しかし、教職員の方々や友人に支えられ、その経験を糧に成長していく姿を見て、茨高はまさに「無限の可能性を秘めた将来のリーダーを数多く輩出する学校」だと感じています。卒業後にその良さを再認識し、親として、（あるいは教職員として、）再び戻ってきたくなる不思議な魅力を持つ学校でもあります。

受験本番の年を迎え、３年生の保護者の皆様は不安な時期かと思います。本日の学校説明会では、茨高の魅力の一端しか触れていただけないかもしれませんが、茨高はお子さまの高校生活だけでなく、その先の人生をも豊かにしてくれる素晴らしい学校です。志望校としてぜひご検討いただき、桜の咲く季節に、お子さまとともに笑顔で茨木高校の入学式を迎えられることを、心より願っております。